

# Campus Mail

For all the students

**FIT** Fukuoka Institute of Technology  
福岡工業大学

この件のお問い合わせは広報課へ  
TEL : 092-606-0607  
MAIL : kouhou@fit.ac.jp

掲示期間 2026-091  
9月3日～9月25日

## 横断科目「Future Vision 実践（SDGs 探究）」 が実施されました

本学では、大学での学びと社会とのつながりを重視し、異なる分野の学生が協働して課題解決に取り組む「横断科目」を2025年度から開講しています。その一つである「Future Vision 実践（SDGs 探究）」が、8月20日から25日までの4日間の集中講義として実施されました。2年目となる今年度は、3学部から計15名（1年生11名、2年生4名）が参加し、SDGsをテーマに学びを深めました。

本科目は、本学ディプロマ・ポリシーの「未来構想力」「グローバルマインド」「発信力」の育成を目的としており、SDGsの17の目標について理解を深めながら、各自の専門分野で学んだ知識を活用し、社会課題の解決策を考えるプログラムです。授業では、SDGsの基礎や科学的探究手法、社会調査やデータ分析の手法などを学ぶとともに、外部講師をお招きしグリーントランスフォーメーション（GX）について技術開発や関連業界の取り組みなど、具体的に学びました。後半はグループワークを通じて課題の設定、情報収集、分析、提案までを実践しました。

最終日には、福岡市東区にある海の中道奈多海水淡水化センター「まみずピア」を訪問しました。日本最大規模の海水淡水化施設である同センターでは、海水から真水を生み出す仕組みや環境負荷低減への取り組みについて学び、SDGsとの関連を実感する貴重な機会となりました。

午後には、グループごとに調査・検討した成果を発表。「海洋ごみ問題」や「日本のフードロス問題」などをテーマに、課題の現状分析と具体的な解決策を提案し、質疑応答や教員からの講評を通して理解を深めました。

受講後、学生からは「SDGsの課題を多角的な視点から考える重要性を学べた」「異なる分野の学生と知識を共有しながら目標達成に向けて協力する力が身についた」といった声が寄せられ、学部・学科を超えた協働による学びの成果がうかがえました。今回の学びを通じて、学生たちは持続可能な社会の実現に向けた課題解決力と実践力を養うことができました。



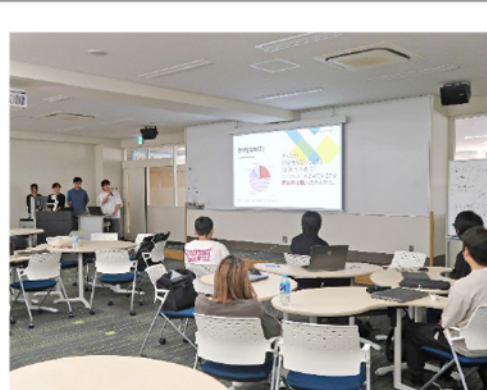
講義の様子



（参照）海水淡水化センター（まみずピア） <https://www.f-suiki.or.jp/facility/kaitan-center/kaitan-facility/>



「まみずピア」での施設見学



グループ発表の様子

<担当教員> 電気工学科 田島 大輔 教授（代表）

情報システム工学科 下戸 健 准教授

社会環境学科 陳 艶艶 准教授

教養力育成センター 古川 武史 教授